

VaR証拠金計算ソフトウェアのログローテーション・削除の考え方

■ ログローテーション

以下2つの項目で設定が可能です。

- Dvar.log.rotate : yyyyMMddとすると日単位でyyyyMMとすると月単位でログファイルが作られる。
Dvar.log.rotate.file.size : 1つのログファイルの最大サイズ。設定値を超えると新しいログファイルが作られる。

■ ログの削除

以下2つの項目で設定が可能です。

- Dvar.log.rotate.max.history : 設定値の数（日数/月数）を超えたログファイルを削除する。
Dvar.log.rotate.total.size.cap : ログファイルのサイズの合計が設定値を超えた場合、最古のログファイルを削除する。

ログの削除は以下2つのログローテーションタイミングで実施されます。（注：ソフトウェア起動時には削除されません。）

ログファイルサイズがDvar.log.rotate.file.sizeを超えた時

Dvar.log.rotateで設定した期間を跨ぐ時（日/月替わりのタイミングにソフトウェアを起動し続け、ログを出力した時）

ログの削除対象はDvar.log.rotate.max.history=3の場合、以下のようになります。（2023/4/1にログローテーションした場合の例）

【ログの削除対象イメージ】

※aplログaccessログ共通

		Dvar.log.rotate	
		yyyyMMdd	yyyyMM
削除 事由	①Dvar.log.rotate. total.size.cap による削除	ローテーション日/月より起算し、Dvar.log.rotate.max.historyの範囲内のファイルサイズの合計が、Dvar.log.rotate.file.sizeを超えたら、日付が古いファイルから削除、同じ日付のファイルがある場合、タイムスタンプが古い順に削除	
		<div><div>20230401.1.log</div><div>20230401.0.log</div><div>20230331.0.log</div><div>20230330.0.log</div><div>20230329.0.log</div><div>20230328.1.log</div><div>20230328.0.log</div><div>⋮</div></div> <div>Dvar.log.rotate.max.history=3 この範囲のファイルを下から削除する。</div> <div>この範囲のファイルは削除されない。 (3/29のファイルは①②両方で削除対象外となる)</div>	<div><div>202304.1.log</div><div>202304.0.log</div><div>202303.0.log</div><div>202302.0.log</div><div>202301.0.log</div><div>202212.0.log</div><div>202211.0.log</div><div>⋮</div></div> <div>Dvar.log.rotate.max.history=3 この範囲のファイルを下から削除する</div> <div>この範囲のファイルは削除されない (23年1月及び22年11月以前のファイルは①②両方で削除対象外となる)</div>
	②Dvar.log.rotate. max.history による削除	ローテーション日-1より起算し、 Dvar.log.rotate.max.history以前のファイルを削除	
		<div><div>20230401.1.log</div><div>20230401.0.log</div><div>20230331.0.log</div><div>20230330.0.log</div><div>20230329.0.log</div><div>20230328.1.log</div><div>20230328.0.log</div><div>⋮</div></div> <div>Dvar.log.rotate.max.history=3 この範囲のファイルは削除されない</div> <div>この範囲のファイルをすべて削除</div>	ローテーション月-1より起算し、 Dvar.log.rotate.max.history+1のファイルを削除